

飼料用大豆栽培に初挑戦

当センターでは、収穫後に再生したイネ科牧草をリビングマルチ※として利用する国産飼料用大豆栽培体系の確立を目指して実証事業に取り組んでいます。

6月13日にイタリアンライグラス二番草収穫後のほ場1.2haにおいて、大豆2品種の不耕起播種の実演検討会を、普及センター職員等15名の参加のもと開催しました。

今後は、大豆の生育状況及びリビングマルチの効果を確認しながら、秋には飼料用大豆のホールクロップサイレージ調製を行う予定です。



不耕起播種機の概要説明



播種作業の確認

※リビングマルチ：植物を用いて土壌を覆う保護層を作り雑草を防ぐ方法